

第6学年 道徳科学習指導案

6年2組 24名

指導者 和泉 陽祐

1 主題名 相手の立場に立って

B-(7) 親切、思いやり	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。
------------------	-----------------------------------

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容

思いやりとは相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。具体的には相手の立場に立った励ましや援助、時には相手のことを考えて温かく見守ることも思いやりを伴った親切な行為としての表れである。

望ましい人間関係を構築していくためには、どのように接して対処することが相手のためになるのか、よく考えることがとても重要である。そこで、人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、思いやりの心と親切な行為を、児童が接する全ての人に広げようとする実践意欲を育てたいと思い、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく優しい児童が多く、困っている友達に対して自分から助けようとする姿が見られる。また、掃除の時間に1年生が重いバケツを持っていると、それに気付いて声をかけ、一緒に持って運ぶなど、年下の児童に対して思いやりをもって接しようとする、上級生らしい親切な行動も見られる。身近な友達に限らず、周囲の人に目を向けて行動しようとする姿勢がうかがえる。しかし、自分と親しくしていない友達困っている、見て見ぬふりをして、救いの手を差し伸べられない児童もいる。また、親切な行動の背景には、「この前～してあげたのに。」といった見返りを期待する気持ちや、「あの子は苦手だな。」など、誰に対しても思いやりの心をもつことの難しさもうかがえる。

そこで本時では、身近な人だけでなく、広い視野で困っている人のために思いやりの心を持ち、その人の立場に立って、行動しようとする実践意欲を育てたい。

(3) 教材について

(教材名「みんないっしょだよー黒柳徹子」
出典：新編 新しい道徳6 東京書籍)

黒柳徹子さんは、1984年からユニセフ親善大使を務めているが、その原点となったのは、自身が通った小学校「トモエ学園」の小林校長先生の言葉「いっしょだよ、みんないっしょにやるんだよ。」である。教材には、見る・聞く・話すことが不自由な人との関わりと、世界各地にある、戦争や貧困、病気などで親を失った子供たちの施設を訪問したときの触れ合いが書かれている。

教材を通して、黒柳さんの「みんないっしょ」という言葉に込められた思いから、「思いやりとは何なのか」を自分のこととして捉え、考えられるようにしたい。相手の立場や気持ちを考え、どうすれば相手のためになるのか推し量ることこそが思いやりであり、「そんな思いやりっていいな」「思いやりの気持ちをもてる自分でありたい」と思えるような心の動きを引き出したい。

(4) 主体的に考え、伝え合い、共に伸びる授業の工夫

本時の学習では、まず学級で取り組んでいる「思いやりにありがとう」の活動を取り上げ、児童が日常生活で感じている思いやりについて想起することができるようにする。児童の生活経験からめあてに繋げることで、めあてについて主体的に考えられるようにする。中心発問では、ワークシートに自分の意見を書かせ、その後小集団の中で自分の考えを表出する時間とすることで、より多様な考えに触れることができるようにする。その際、友達の考えを聞いて新たに考えたことを別の色で書き足すように促すことで、児童が自分の考えと友達の考えを比較しながら、自分の感じ方や考え方を見つめ直すことができるようにする。また、教師が問い返しをすることにより、多面的・多角的に捉え、多様な考えの中から自分の意見を再構築できるようにする。

3 本時の学習

(1) ねらい

誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする実践意欲を高める。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応 ◎主発問	指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 これまでの生活を振り返り、本時のめあてをつかむ。	○これまでに思いやりを感じた時 はありますか。 ・落ちていた消しゴムを拾ってくれた。 ・筆を貸してくれた。 ・重い荷物を持ってくれた。	○思いやりについて考えることで、 本時のねらいに対する関心を高める。
		思いやりって何だろう	
展開	2 教材について話し合う。 (1) 黒柳さんが関わる子どもたちの気持ちについて考える。 (2) 黒柳さんの思いやりについて考える。	○黒柳さんが関わる子どもたちは どのような気持ちでしょうか。 ・黒柳さんが優しく接してくれて嬉しい。 ・寂しかったけど、一緒に遊んでくれて喜んでいる。 ・気かけ、愛情をくれるから大好きだと思ってる。 ◎黒柳さんが大切にしている「みんないっしょ」とはどういうことだろう。 ・相手のことを考えていっしょにやろうとすること。 ・楽しみたいという気持ちはみんないっしょだということ。 ・誰一人悲しむことなく、みんなですぐに幸せになろうということ。 ・みんな平等で、仲間はずれを作らないこと。	○黒柳さんが活動している写真を 掲示することで、黒柳さんが関わる子どもたちの気持ちを想像できるようにする。 ○黒柳さんの行動だけでなく、内面に目を向けることができるように、声かけをする。 ○グループ活動にすることで、積極的に意見交流ができるようにする。 ○問い返しを行うことにより、思いやりについて考えを深めることができるようにする。 ☆思いやりについて多面的・多角的な話し合いをしている。(発言)
	3 話し合いをもとに思いやりとは何か考える。	○話し合いをして思いやりとは何だ と考えましたか。 ・相手の気持ちになって、どうしてほしいかを考えること。 ・相手が嬉しいと感じることをしようとする事。 ・相手の思いに寄り添うこと。	○思いやりの気持ちをもって行動している生活場面を例示することにより、児童が自分自身との関わりの中で思いやりについて考えることができるようにする。 ☆思いやりについて考えを広げている。(発言・ワークシート)
終末	4 本時のまとめをする。	○みんなにある思いやりの心を、 これからも膨らませていきましょう。	○相手を思いやって行動しようとする実践意欲を高める。